

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年11月13日
【四半期会計期間】	第121期第2四半期（自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日）
【会社名】	わかもと製薬株式会社
【英訳名】	WAKAMOTO PHARMACEUTICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 神谷 信行
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町二丁目2番2号
【電話番号】	（03）3279-0371（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 増田 康彦
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋本町二丁目2番2号
【電話番号】	（03）3279-0371（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 増田 康彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第120期 第2四半期 累計期間	第121期 第2四半期 累計期間	第120期
会計期間	自平成26年 4月1日 至平成26年 9月30日	自平成27年 4月1日 至平成27年 9月30日	自平成26年 4月1日 至平成27年 3月31日
売上高 (千円)	5,208,681	5,429,923	10,616,425
経常利益 (千円)	27,914	103,841	233,665
四半期(当期)純利益 (千円)	11,385	61,633	83,343
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	3,395,887	3,395,887	3,395,887
発行済株式総数 (千株)	34,838	34,838	34,838
純資産額 (千円)	13,777,926	13,923,337	14,124,284
総資産額 (千円)	18,757,064	18,572,860	18,971,110
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	0.33	1.77	2.40
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	3.00
自己資本比率 (%)	73.45	74.97	74.45
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	741,739	87,521	1,175,302
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	837,741	99,556	1,270,236
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	14,382	209,364	314,405
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	3,277,560	2,757,205	2,978,606

回次	第120期 第2四半期 会計期間	第121期 第2四半期 会計期間
会計期間	自平成26年 7月1日 至平成26年 9月30日	自平成27年 7月1日 至平成27年 9月30日
1株当たり四半期純損失 ( ) (円)	0.65	0.82

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について重要な変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### ３【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

#### （１）業績の状況

当第２四半期累計期間における医薬品業界は、引き続き医療費抑制策の基調は変わらず、また、一般用医薬品市場も低迷が続いており、厳しい環境下で推移いたしました。

そのなかにあって当社の医薬事業では、主力製品であるアレルギー性結膜炎治療剤「ゼベリン点眼液0.1%」、水溶性非ステロイド性抗炎症点眼剤「ジクロード点眼液0.1%」、緑内障・高眼圧症治療剤「リズモンＴＧ点眼液」および主力製品へと育成すべき重要な製品の眼科手術補助剤・硝子体内注用副腎皮質ホルモン剤「マキユエイド硝子体内注用40mg」、緑内障・高眼圧症治療剤（特許を持った後発品）「カルテオロール塩酸塩ＬＡ点眼液」、「レボフロキサシン点眼液」を中心とした抗菌点眼薬シリーズおよび業務提携先との共同販売品である医家向けサプリメント「オキュバイト」シリーズ、Ａ型ボツリヌス毒素製剤「ボトックス注用」の販売促進を行ってまいりました。

薬粧事業では、主力製品である「強力わかもと」に加え、薬用歯磨き（医薬部外品）「アバンビーズＤＸ」シリーズ５製品の販売促進を行ってまいりました。

特販事業では、国内向けに医薬品原料の販売と他社受託品を、海外向けに「わかもと」、原料薬品および点眼剤の製造販売に努めてまいりました。

その結果、当第２四半期累計期間の売上高は54億２千９百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益１千８百万円（前年同期は営業損失５千万円）、経常利益は１億３百万円（前年同期比272.0%増）、四半期純利益は６千１百万円（前年同期比441.3%増）となりました。

セグメント別の売上高の状況につきましては、医薬事業では長期収載品である「ジクロード点眼液0.1%」、「リズモンＴＧ点眼液」の売上が減少いたしました。また、「マキユエイド硝子体内注用40mg」、「ラタノプロスト点眼液0.005% NP」、「カルテオロール塩酸塩ＬＡ点眼液」、「ヒアルロン酸Na点眼液0.1%」の売上が増加いたしました。その結果、売上高は28億６千５百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

薬粧事業では、主力製品の「強力わかもと」の売上が増加し、その結果、売上高は14億４千７百万円（前年同期比45.4%増）となりました。

特販事業では、国内向け他社受託品、輸出用の原料薬品が減少いたしました。その結果、売上高は10億２千６百万円（前年同期比24.7%減）となりました。

#### （２）キャッシュ・フローの状況

当第２四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末から２億２千１百万円減少し、27億５千７百万円となりました。その内容の主なものは次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間において営業活動により増加した資金は８千７百万円となりました。（前年同期に比べ収入が６億５千４百万円減少）

この主な要因は、税引前四半期純利益が１億３百万円、非資金支出項目である減価償却費が３億６千万円あった一方、たな卸資産の増加が３億３千９百万円あったためであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間において投資活動により減少した資金は９千９百万円となりました。（前年同期に比べ支出が７億３千８百万円減少）

この主な要因は、有形固定資産の取得による支出が１億２千２百万円あったためであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期累計期間において財務活動により減少した資金は２億９百万円となりました。（前年同期に比べ支出が１億９千４百万円増加）

この主な要因は、長期借入金の返済による支出が１億４百万円、配当金の支払額が１億３百万円あったためであります。

#### （３）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第２四半期累計期間において、当社が対応すべき課題について重要な変更はありません。

#### （４）研究開発活動

当第２四半期累計期間における当社の研究開発活動の金額は６億４千６百万円であります。なお、当第２四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

## 第3【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

## (1)【株式の総数等】

## 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	120,000,000
計	120,000,000

## 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成27年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成27年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	34,838,325	34,838,325	東京証券取引所 市場第一部	権利内容に何ら 限定のない当社 における標準と なる株式であ り、単元株式数 は1,000株であ ります。
計	34,838,325	34,838,325	-	-

## (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

## (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成27年7月1日～ 平成27年9月30日	-	34,838,325	-	3,395,887	-	2,675,826

## ( 6 ) 【大株主の状況】

平成27年 9 月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 ( 千株 )	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 ( % )
キッセイ薬品工業株式会社	長野県松本市芳野19番48号	3,778	10.84
株式会社プレストシーブ	大阪府茨木市西駅前町 5 番10号	2,500	7.17
朝日生命保険相互会社	東京都千代田区大手町 2 丁目 6 番 1 号	1,720	4.93
株式会社千葉銀行	千葉県千葉市中央区千葉港 1 番 2 号	1,322	3.79
日本ゼトック株式会社	東京都新宿区西新宿 1 丁目26番 2 号	1,201	3.44
アクサ生命保険株式会社	東京都港区白金 1 丁目17番 3 号	1,128	3.23
ロート製薬株式会社	大阪市生野区巽西 1 丁目 8 番 1 号	1,105	3.17
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町 1 丁目 5 番 5 号	1,093	3.13
大正製薬ホ - ルディングス株式会 社	東京都豊島区高田 3 丁目24番 1 号	1,000	2.87
わかもと製薬取引先持株会	東京都中央区日本橋本町 2 丁目 2 番 2 号	979	2.81
計	-	15,826	45.42

## ( 7 ) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成27年 9 月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式 (自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式 (その他)	-	-	-
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 102,000	-	-
完全議決権株式 (その他)	普通株式 34,260,000	34,260	-
単元未満株式	普通株式 476,325	-	-
発行済株式総数	34,838,325	-	-
総株主の議決権	-	34,260	-

( 注 ) 「完全議決権株式 (その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が3,000株 (議決権の数 3 個) 含まれております。

## 【自己株式等】

平成27年 9 月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数 (株)	他人名義所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
わかもと製薬株式会社	中央区日本橋本町二丁目 2 番 2 号	102,000	-	102,000	0.29
計	-	102,000	-	102,000	0.29

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、京橋監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がないため、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

## 1【四半期財務諸表】

## (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,572,188	2,350,725
受取手形及び売掛金	3,637,714	3,483,753
有価証券	406,417	406,480
商品及び製品	1,267,997	1,611,234
仕掛品	475,551	496,668
原材料及び貯蔵品	643,454	618,238
繰延税金資産	349,662	383,979
未収還付法人税等	118,251	-
その他	215,121	248,321
流動資産合計	9,686,359	9,599,403
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	7,778,103	7,855,827
減価償却累計額	4,135,134	4,268,977
建物（純額）	3,642,969	3,586,849
構築物	279,197	279,427
減価償却累計額	213,105	218,325
構築物（純額）	66,091	61,101
機械及び装置	7,678,671	7,804,620
減価償却累計額	6,831,915	6,969,605
機械及び装置（純額）	846,755	835,014
車両運搬具	35,201	35,990
減価償却累計額	33,577	31,006
車両運搬具（純額）	1,624	4,983
工具、器具及び備品	873,145	881,063
減価償却累計額	733,189	745,198
工具、器具及び備品（純額）	139,956	135,865
土地	341,552	341,552
建設仮勘定	22,605	20,695
有形固定資産合計	5,061,555	4,986,062
<b>無形固定資産</b>		
特許実施権	300,000	300,000
特許権	704	644
ソフトウェア	133,022	127,001
ソフトウェア仮勘定	-	16,112
その他	3,988	3,938
無形固定資産合計	437,715	447,697
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,864,289	2,636,388
保険積立金	667,500	616,965
繰延税金資産	-	33,331
その他	253,689	253,012
投資その他の資産合計	3,785,478	3,539,697
<b>固定資産合計</b>	<b>9,284,750</b>	<b>8,973,457</b>
<b>資産合計</b>	<b>18,971,110</b>	<b>18,572,860</b>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,173,706	1,197,888
短期借入金	308,000	452,000
未払法人税等	-	58,975
未払消費税等	122,716	23,227
賞与引当金	232,900	249,200
返品調整引当金	20,000	11,000
その他	809,546	825,626
流動負債合計	2,666,870	2,817,917
固定負債		
退職給付引当金	1,304,488	1,223,875
役員退職慰労引当金	9,600	-
繰延税金負債	10,210	-
長期借入金	688,000	440,000
長期預り金	167,655	167,729
固定負債合計	2,179,955	1,831,605
負債合計	4,846,825	4,649,522
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,826	2,675,826
利益剰余金	6,953,006	6,910,413
自己株式	26,896	28,722
株主資本合計	12,997,823	12,953,405
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,126,460	969,932
評価・換算差額等合計	1,126,460	969,932
純資産合計	14,124,284	13,923,337
負債純資産合計	18,971,110	18,572,860

## ( 2 ) 【四半期損益計算書】

## 【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	5,208,681	5,429,923
売上原価	2,464,540	2,364,662
売上総利益	2,744,141	3,065,261
販売費及び一般管理費	2,794,806	3,046,756
営業利益又は営業損失( )	50,665	18,504
営業外収益		
受取利息	401	278
受取配当金	21,958	23,506
受取技術料	69,522	66,055
受取補償金	67,010	-
その他	35,446	27,871
営業外収益合計	194,339	117,712
営業外費用		
支払利息	8,679	5,055
固定資産除却損	4,535	381
寄付金	12,846	13,232
支払補償費	61,914	-
たな卸資産処分損	17,738	-
その他	10,044	13,707
営業外費用合計	115,758	32,376
経常利益	27,914	103,841
特別損失		
投資有価証券評価損	242	-
特別損失合計	242	-
税引前四半期純利益	27,672	103,841
法人税、住民税及び事業税	6,600	44,000
法人税等調整額	9,686	1,791
法人税等合計	16,286	42,208
四半期純利益	11,385	61,633

## ( 3 ) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

( 単位 : 千円 )

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	27,672	103,841
減価償却費	344,721	360,716
退職給付引当金の増減額 ( は減少 )	92,380	80,612
賞与引当金の増減額 ( は減少 )	67,300	16,300
役員賞与引当金の増減額 ( は減少 )	12,000	-
受取利息及び受取配当金	22,359	23,785
支払利息	8,679	5,055
有形固定資産除却損	4,535	381
投資有価証券評価損益 ( は益 )	242	-
売上債権の増減額 ( は増加 )	45,712	153,961
たな卸資産の増減額 ( は増加 )	24,853	339,138
仕入債務の増減額 ( は減少 )	59,266	105,109
未払消費税等の増減額 ( は減少 )	67,028	99,489
役員退職慰労引当金の増減額 ( は減少 )	-	9,600
預り敷金及び保証金の受入による収入	47,534	73
その他	36,753	28,228
小計	189,495	45,635
利息及び配当金の受取額	22,359	23,785
利息の支払額	9,629	5,146
法人税等の還付額	-	118,492
法人税等の支払額	473,783	3,974
移転補償金の受取額	1,048,637	-
移転費用の支払額	35,339	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	741,739	87,521
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	831,076	122,888
無形固定資産の取得による支出	14,960	33,464
投資有価証券の取得による支出	2,165	4,695
投資その他の資産の増減額 ( は増加 )	10,460	61,492
投資活動によるキャッシュ・フロー	837,741	99,556
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	708,000	104,000
長期借入れによる収入	800,000	-
自己株式の取得による支出	2,729	1,825
自己株式の処分による収入	459	-
配当金の支払額	104,112	103,539
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,382	209,364
現金及び現金同等物の増減額 ( は減少 )	110,384	221,400
現金及び現金同等物の期首残高	3,387,945	2,978,606
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,277,560	2,757,205

## 【注記事項】

( 会計方針の変更 )

該当事項はありません。

( 追加情報 )

該当事項はありません。

( 四半期貸借対照表関係 )

該当事項はありません。

( 四半期損益計算書関係 )

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第 2 四半期累計期間 ( 自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日 )	当第 2 四半期累計期間 ( 自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日 )
発送費	83,868千円	61,833千円
広告宣伝費	63,574	82,112
販売促進費	455,070	564,316
給料手当及び賞与	785,882	820,207
退職給付引当金繰入額	71,601	34,067
福利厚生費	123,727	126,812
賃借料	39,474	43,157
減価償却費	30,975	32,233
旅費及び交通費	110,950	118,118
研究開発費	532,693	646,502

賞与引当金繰入額は給料手当及び賞与に含めて表示しております。

## ( 四半期キャッシュ・フロー計算書関係 )

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第 2 四半期累計期間 ( 自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日 )	当第 2 四半期累計期間 ( 自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日 )
現金及び預金勘定	2,871,225千円	2,350,725千円
有価証券勘定	406,335	406,480
現金及び現金同等物	3,277,560	2,757,205

## ( 株主資本等関係 )

前第 2 四半期累計期間 ( 自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日 )

配当に関する事項

## (1)配当金支払額

平成26年 6 月24日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

・ 普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	104,278千円
1 株当たり配当額	3.0円
基準日	平成26年 3 月31日
効力発生日	平成26年 6 月25日
配当の原資	利益剰余金

当第 2 四半期累計期間 ( 自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日 )

配当に関する事項

## (1)配当金支払額

平成27年 6 月23日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

・ 普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	104,226千円
1 株当たり配当額	3.0円
基準日	平成27年 3 月31日
効力発生日	平成27年 6 月24日
配当の原資	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注)2
	医薬事業	薬粧事業	特販事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,799,152	995,448	1,361,922	5,156,524	52,157	5,208,681	-	5,208,681
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	2,799,152	995,448	1,361,922	5,156,524	52,157	5,208,681	-	5,208,681
セグメント利益又は 損失( )	400,843	81,514	288,363	30,965	19,699	50,665	-	50,665

(注)1. 報告セグメントに含まれない「その他」の内容は、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

当第2四半期累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注)2
	医薬事業	薬粧事業	特販事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,865,411	1,447,828	1,026,085	5,339,324	90,599	5,429,923	-	5,429,923
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	2,865,411	1,447,828	1,026,085	5,339,324	90,599	5,429,923	-	5,429,923
セグメント利益又は 損失( )	435,172	241,676	187,063	6,433	24,937	18,504	-	18,504

(注)1. 報告セグメントに含まれない「その他」の内容は、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。



## ( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期累計期間 ( 自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日 )	当第 2 四半期累計期間 ( 自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日 )
1 株当たり四半期純利益金額	0円33銭	1円77銭
( 算定上の基礎 )		
四半期純利益金額 ( 千円 )	11,385	61,633
普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 ( 千円 )	11,385	61,633
普通株式の期中平均株式数 ( 千株 )	34,756	34,739

( 注 ) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## ( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月10日

わかもと製薬株式会社

取締役会 御中

京橋監査法人

代表社員 公認会計士 小宮山 司 印  
業務執行社員

代表社員 公認会計士 荒木 勝己 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているわかもと製薬株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第121期事業年度の第2四半期会計期間（平成27年7月1日から平成27年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、わかもと製薬株式会社の平成27年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。